

『2003「水よ輝け」音楽祭』が開かれました！

平成 15 年 12 月 7 日（日）、『2003 水よ輝け音楽祭』が、水よ輝け音楽祭実行委員会（含三島ゆうすい会）三島市の主催により、三島市民文化会館大ホールで開催されました。

「水よ輝け」という歌は、平成 3 年に三島市制 50 周年、（社）三島青年会議所創立 30 周年のイメージソングとして、作詞：伊藤アキラ、作曲：森田公一により作られたものです。

この曲は、今回、三島市街中がせせらぎキャンペーンソングになりました。

当日は八木英子さんの軽妙な司会のもと、子どもから大人まで 9 つのグループが練習の成果を発表しました。ゲストには、お琴の草間路代さん、尺八の宮崎青畝さん、ソプラノ歌手の遠藤いつ子さんが出演してくださいました。また、遠く山梨県から「アンサンブル・レガロ」の皆さんとピアニストの田中タ希子さんも駆け付けてくださいました。

この日は箱根西麓で大根まつりが開かれるなど、他の行事もたくさんあったようですが、入場者、出演者含めて 600 名余の参加となりました。

新出幸雄さんデザインのポスターの掲示や新聞・ラジオ等メディアによる報道もされ、この歌の存在を広く市民に知っていただくことができ

ました。

ポスターに掲載させていただいた各団体、各社より協賛と後援をいただき、この音楽祭が開催できましたことに一同感謝しています。

三島ゆうすい会としては、今後もこの音楽祭が継続できるよう努力していきたいと思っています。

秋晴れの空のもと、 「湧水わくわくバスツアー」 を開催しました！

平成 15 年 10 月 19 日（日）、富士山をはじめとする山、森林の自然環境とその恵みである湧水を守る大切さを学ぶことを目的に「湧水わくわくバスツアー」を開催しました。今回のバスツアーには、チラシや新聞記事を見て応募した小学生から熟年世代までの幅広い層の方々と、同行の本部スタッフ、三島市職員の総勢 33 名が参加しました。

当日は、講師である市川浩司さん（静岡県環境森林部水利用室水利用スタッフ）のご指導で、長泉町の愛鷹水神社、富士山・水ヶ塚水源、御殿場市の二子水神湧水、二子湧水など、普段、目にする機会の少ない三島市周辺の湧水地を見学しました。

各湧水地で水の違いを実感するために水質パックテストをおこないました。今回のツアーは、湧水のしくみや富士山周辺の地下水の現状の話を聞き、実際にそれぞれの湧水の水温や水質を調べることで、参加者に



△当日会場で配布したパンフレット

とって、いっそう興味深いツアーとなったようです。

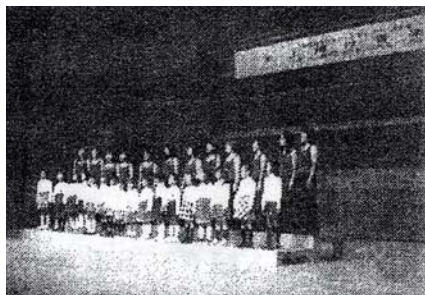
参加者からは、「水の大切さを感じることができ、楽しく有意義な 1 日を過ごすことができた」「ぜひまた企画して欲しい」などの声があがっていました。



△バスツアー参加者の皆さん（富士山・水ヶ塚にて）



△熱心に湧水地を見学する参加者



△水よ輝け♪各出場グループの美しいハーモニーが会場に響きました。

子どもを育む、水の環境学習

◆南小3年生の総合学習に協力

平成15年10月2日(木)、三島市立南小学校からの依頼を受け、三島ゆうすい会の3理事(佐伯忠夫、岩田重理、大村洋子)が3年生の総合学習の指導にあたりました。

中郷温水池、源兵衛川、三島梅花藻の里、白滝公園についてあらかじめ質問が出ていましたので、講義と実体験に分けて児童と講師が入れ替わりながら学習しました。

3年生からは、「中郷温水池になぜ水を貯めてあるのかわかった。」「中郷地区は米を作っていたんだ。」「三島梅花藻をはじめて見た。あんなに小さいとは知らなかった。」「ホタルの幼虫は小さくてあんな形だったんだ。」「源兵衛川は、場所によって温度が違うんだ。」「源兵衛川は町中を流れている川の中で、日本一きれいな川だ。」等々、新しく見たこと聞いたことについて驚きの感想が寄せられました。

◆錦田小4年生の総合学習へ

平成15年11月26日(水)、三島市立錦田小学校4年生からの依頼を受け、三島ゆうすい会の秋山峰治事務局長と岩田重理理事が総合学習の指導にあたりました。

この4年生は、事前の総合学習で、

加須屋真先生や静岡県職員の方により、動植物の生態や水の循環等について勉強していました。

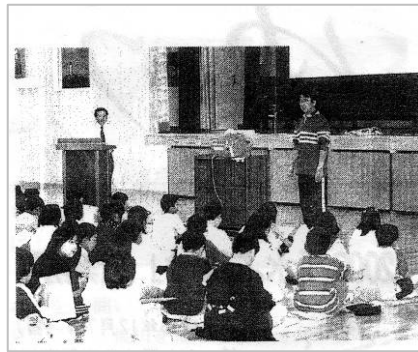
「三島ゆうすい会」には、「川って何？人々との関わりを通して川(水)を考える」のテーマが与えられました。103名の4年生を前に、昔の水風景、湧水の減少と人々の生活、源兵衛川のドブ川から清流への再生、水質パックテスト等々の話をしました。

錦田小学校には、雨水浸透マスおよび雨水再利用施設、太陽光発電施設等が設置されていることもあって、子どもたちは環境問題に、とても関心をもっているようです。

良好な水辺環境を作り、この子どもたちにバトンタッチするために、総合学習を通して三島ゆうすい会の思いを子どもたちに伝えていきたいと思っています。

源兵衛川の清掃に 南中生が参加

平成15年12月14日(日)、源兵衛川の定期清掃をしていると、三島市立南中学校3年の男子生徒2名が河川清掃をしないとやって来ました。源兵衛川の河川清掃については、



△11月に本会が協力した錦田小4年生・103名の水の学習

インターネットで知ったということで、そのうちの1人からは年賀状も届きました。高校入試が終わった後の3月には、また源兵衛川の清掃に参加したいとのことです。

河川清掃を体験することで、若い人たちに美しい川を守る大切さを考えてもらえることは、三島ゆうすい会にとって大変嬉しいことです。

東小4年生のホタル学習を ラジオで生中継

平成15年12月9日(火)、総合学習の一環でホタルについて調べることを選択した三島市立東小学校4年生5名が、三島ゆうすい会の塚田冷子会長宅を訪れました。

その日はSBSラジオの“猛烈昼下がり・アップレハレハレ”という生中継の番組の出演依頼があり、東小学校の子どもたちが一緒にラジオ出演することになりました。

ホタルの幼虫を見ながら勉強を始めました。子どもたちは目がとてもよく、塚田冷子会長には拡大鏡でも見えにくいホタルの尾脚(片方に5つずつ筒状の部分)をしっかりと見てくれました。

ラジオの生中継が始まると、子どもたちと付き添いのお母さんがたも乗りがよく、しっかりホタルの不思議に感激してくれました。

その後、子どもたちは、源兵衛川の湧水に寒さを忘れて飛び込み、「水が湧いていることを知らなかった」とまた、大騒ぎ。SBSの色鉛筆をお土産にもらい、喜んで4時ぎりぎりに学校へ帰って行きました。

鏡池の「天水尊」を リニューアル

平成15年12月27日、鏡池の「天水尊」をリニューアルしました。もとの天水尊の設置は平成7年2月11日。古い風呂桶を再利用し会員が手作りの天水尊は、三島ゆうすい会として天水尊モデル設置に初めて取り組んだ第1号基でした。初設置から約9年が経ち老朽化が進んでいました。

新しい天水尊は、500リットルの既製雨水タンクの外側を木製の箱で



△新しくなった鏡池の「天水尊」

覆ったもので、1度に溜められる雨水量も前より多くなりました。役目を終えた第1号天水尊に代わって、今後も市民に雨水利用の大切さをアピールします。

大岡 信氏（三島ゆうすい会名誉顧問） 三島市名誉市民となられる

三島市ご出身で、平成15年11月3日に文化勲章を受章された大岡信氏は、三島市名誉市民条例に定めるところにより、三島市議会の全会一致の同意を得て、2人目の三島市名誉市民になりました。

平成16年1月10日に、「大岡信氏・文化勲章受章・祝賀会」がみしまプラザホテルにて開催されました。大岡信氏は、奥様（劇作家・深瀬サキ氏）とご出席されました。

同祝賀会発起人には、三島ゆうすい会塚田冷子会長も、NPO法人グラウンドワーク三島緒明實理事長とともに名を連ね、三島ゆうすい会関係者と喜びを分かち合いました。会場には200名が集まり、詩人・大岡信氏の言葉に耳を傾けました。

大岡信氏は、幼少年時代を過ごした故郷三島と今も近い関係にあると前置きをしてから、三島での思い出なども話され、自分は紙の上にペンを走らせているだけの者であると、非常に謙遜されたスピーチをされました。しかし、ペンの力の強さも知っているのも、そのような力を発揮できるよう努力したいと結ばれました。

塚田冷子会長が祝賀会を代表して花束贈呈をし、沼津中学（現沼津東高）友人代表の川村博一氏は、お祝いのスピーチの中で、三島ゆうすい会の活動における大岡信氏の存在の大きさについても述べられました。

参加者には日本短詩型詞華集『折々のうた 三六五日』（大岡 信著）が配られましたが、365作品の索引に、父親の大岡博氏の名に連なり大岡信氏の名も出ていました。その310ページを開けると、ポール・エリュアール、大岡信訳とあり、「年をとる そ



△大岡信ご夫妻（中央）と三島ゆうすい会メンバー

れはおのれの青春を 歳月の中で組織することだ」が掲載されていました。700行に近い長編のほんの一部だそうですが、「ここに含まれる生への洞察に敬意を表して」と書かれていました。

祝賀会場で、子どもたち（のびるキンダーコア）のコーラスによって歌われたのは、『水よ輝け』の歌。水の都・三島の水を守る活動の大切さが、祝賀の喜びにわく多くの人々の心に静かにしみこんでいくようでした。

おめでとうございます。

* * * * *

◆大岡 信氏の「故郷の水へのメッセージ」が、“水辺の文学碑”に

大岡信氏の文学碑の除幕式が、平成16年3月6日（土）10:00より行われます。場所は桜川沿いに並ぶ“水辺の文学碑”の白滝公園寄りです。

この文学碑は、三島ライオンズクラブが結成40周年記念事業の1つとして、「宗祇」「小出正吾」の碑とともに“水辺の文学碑”の中に新たに設置するので、碑文には、大岡氏の作品『故郷の水へのメッセージ』から「地表面の七割は水 人体の七割も水 われわれの最も深い感情も思想も 水が感じ 水が考へてゐるに違いない」の文言が選ばれています。

ななくさ・なずな〜♪ 七草粥を食べに行こう！

平成16年1月7日（水）、七草粥を食べる集いが、三島ゆうすい会とふるさとの唄を楽しむ会の主催で、塚田神経科医院の中庭で行われました。

塚田冷子会長による七草粥の歴史や効能についての話の後、コーラスグループ「アンサンブル・コス

モス」の美しい歌声を聞きながら七草粥をいただきました。

七草は三ツ谷新田の内藤秀一さんから毎年提供していただいています。今年は新聞やラジオで前もって報道されていたためか、緒明實名誉会長はじめ80名を越えるほどの参加があり、スタッフは嬉しい悲鳴をあげました。

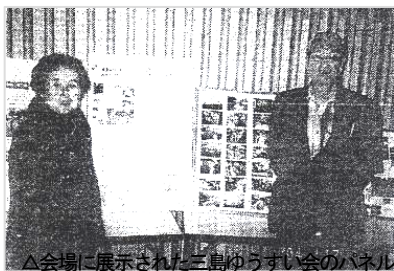
お正月で食べすぎ飲みすぎた胃腸にやさしい七草粥を食べて、日

本の伝統的な食文化を守り続ける一石になればと思います。



△塚田医院の中庭で開催された七草の集い

第3回しずおか川自慢大賞 に参加しました



△会場に展示された三島ゆうすい会のパネル

平成 16 年 1 月 17 日 (土)、しずおか川自慢大賞実行委員会の主催により、第 3 回しずおか川自慢大賞の会が静岡市・グランシップで開催されました。

NPO 市民活動をしている 17 のグループと静岡県内の小学校 8 校、三島市役所 (まちづくり部、水と緑の課) がそれぞれの川自慢を発表しました。

三島ゆうすい会の塚田冷子会長は、富士山の湧水と源兵衛川の再生

「桜川を愛する会」 桜川にモクズガニを放流

平成 15 年 10 月 18 日 (土)、桜川を愛する会では、桜川、白滝公園の湧水が流れ込む川岸で、モクズガニを放流しました。静岡県栽培漁業センター (沼津市口野) のご協力により、無償で入手したモクズガニです。放流後、カニは数分で石垣のわれ目を探り、桜川を愛する会会員の見守るなかで姿を消していきました。モクズガニは成長すると産卵のため桜川から大場川を下り、狩野川河口の汽水域 (海水と淡水が交わる所) まで下り産卵し、再び川をさかのぼると

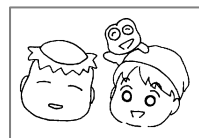
にいて、涸れたドブ川をいかにして清流にしたかを発表しました。

今回の川自慢大賞は「大井川みずがきネットワーク」が、選考委員特別賞は「静岡市立麻機小学校」と「富士市立今泉小学校」が受賞しました。三島ゆうすい会は努力賞を受

△モクズガニを放流する桜川を愛する会の皆さん
聞いています。

桜川を愛する会では、「数年後、桜川にモクズガニが子ガニをつれて戻ってくることを願って、私たち会員は桜川の清掃を続けていきます」と話しています。(次回清掃は 3 月 6 日(土)です。詳しくは下記参照)

賞し、「あなた方の川活動に対して会場の全員よりエールを送る」という賞状をいただきました。子どもたちの活発な活動と発表にはとても感動させられました。



今後の予定

●源兵衛川清掃

原則として毎月第 2 日曜 13:00～
3 月 14 日 (日) 13:00

水の苑緑地・かわせみ橋集合
長靴、軍手またはビニール手袋持参
「源兵衛川を愛する会」とともに

●桜川清掃

原則として毎月第 1 土曜 10:00～
3 月 6 日 (土) 10:00

白滝公園集合
※今回は、小さな親切運動協賛清掃
です。また、当日、大岡信氏の文学
碑除幕式のため実際の作業の時間
は前後します。

長靴、軍手またはビニール手袋持参
「桜川を愛する会」とともに

●三島梅花藻の里保全活動

原則として毎月第 2 日曜 10:00 頃～
三島梅花藻の里集合

長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具
※三島梅花藻の里作業に皆様の応援を！

作業の様子はホームページで見てね！

★いずれの定例活動も自由参加です。ふるってご参加ください！

★雨天時は源兵衛川・桜川清掃、三島梅花藻の里作業は原則としてお休みです。

【その他の行事】

●三島ゆうすい会第 1. 3 回総会

3 月 7 日 (日) 18:00～

会場：みしまプラザホテル
18:00～総会

18:30～特別講演会 参加費無料

「富士山の湧水」講師：井野盛夫先生
(富士常葉大学環境防災学部長)

19:30～交流会 参加費 5,000 円

【お知らせなど】

ホームページを順次リニューアル
します！ホームページ制作やニュー
スレター編集に協力してくださる
方募集中！事務局へご連絡を。

【他団体から】

・遊水匠の会より

あなたも遊水匠の会で一緒に水車
を作りませんか？定例活動は原則
として毎月第 1、第 3 日曜 10 時
から塚田工房にて (住所は三島ゆ
うすい会事務局と同じ)。

●会費ご入金 (平成 15 年 7 月～12 月分)

・正会員 (敬称略・順不同)

ユースク (三島市) 木内光夫 (三島市)
弓場重明 (三島市) 飯田省司 (三島市)
高木正治 (三島市) 山梨一正 (三島市)
川口美津子 (三島市)

☆ありがとうございました！

本年度会費の納入については、後日、
あらためてお知らせいたします。

〈年会費金額〉

・正会費 3,000 円

・賛助会費 1 口 10,000 円

〈お振込み先〉

・郵便振替 0840-4-118192

加入者名：三島ゆうすい会

・静岡銀行三島支店

普通預金 No.0346532

・駿河銀行三島セントラル支店

普通預金 No.572969

・三島信用金庫西支店

普通預金 No.1042399

口座名：三島ゆうすい会

会長 塚田冷子